

令和 6 年度 防犯ボランティアフォーラム 中国四国ブロック 令和 6 年 6 月 29 日開催

円城駐在所管内安全パトロール隊 (岡山県)



皆さん改めまして、こんにちは。岡山県のちょうど真ん中にある円城駐在所管内安全パトロール隊の黒田と申します。私は事務局をやっており、実は今日はここで隊長が本来はお話をする予定だったのですが、急遽来られなくなり、ピンチヒッターでここへ立っています。トップバッターということなので緊張していますが、お付き合いよろしくお願いいたします。

では最初に、円城駐在所管内安全パトロール隊、写真の方は今 3 名しか映っていませんが、全体の人数としては、10 数名が在籍しております。ただ、私たちの街は非常に広いエリアとなっていますが、私どものこの円城は大体 1000 名が住んでいる地区を担当しております。そういった中で、10 数名が活動していますが、やはり、寄る年波で高齢化も進み、だんだん出てくる人間というのがこう固定化してくる。多分、これはどの団体も非常に同じような状況だと思います。そういった中で、継続的にいかにやっていくかという課題や、いかに活動費を得ていくかこの辺りを考えながら現在やっています。

発足の経緯

私たちの住んでいる吉備中央町円城地区は、山間地域でスクールバスを利用して通学する児童も多く、バス停から自宅までは街灯のない山道を登下校しなければならないという児童もいることから、児童の安全安心の確保、と同時に進む高齢者を含む地域住民の安全安心を守ることを目的として、地区の地域安全推進委員が中心となって、平成17年10月に発足しました。



私たちの団体は、実は岡山県の中でもかなり早い時期に隊を発足しております。今から大体 19 年前で、平成の 17 年 10 月に発足という形ですが、現実にはこの隊の発足より以前から防犯のみならず、防災活動等々も含めた中でいろんな方々が集まってやっている中で、今後、防犯活動もしっかりやっていくべきではないのかということで発足したものです。当時、円城駐在所に勤務されていた方が、非常にコーヒーを飲むのが好きなお巡りさんだったので、そこで私が一緒にお茶を飲みながら「大変だよな」という話もする中で、今後どうするかということで、ちょうどその駐在所の方の地元で県下で初めの自主防犯組織が立ち上がったという情報を掴みました。そこで私たちも真似してやってみようという話でとんとん拍子に話が進んでいきました。

私たちの町は非常に中山間地域の典型的な街です。子どもたちはスクールバスで通うのが一番多いのですが、スクールバスを降りても、長い子だったら 30 分ぐらい歩いて帰らなければいけない子どももいるような現状です。そういった中で、私たちが子どもの時には想定しなかったようないろんな犯罪、例えば車を使った犯罪、それから野生動物による被害というのも実際に起きています。ちょっと笑い話になりますが、私たちのところは、今、非常にイノシシや猿が出ます。猿が車両を追い回します。そういったことで、子どもが歩いている時に、猿が出てきて被害を受けてはいけないということがあって、私たちが活動する中で、子どもたちが帰る前に車両で通学路を通ってみて、安全かどうかを繰り返し見たこともあります。数年前から、3 年に 1 回ぐらい、中国山地から熊が降りてくるような状況になりました。実は昨日も、その熊の足跡が発見されたということで、今日私たちも帰ってちょっと現場を回ろうかという話をしているところなのですが、非常に有害な人間では立ちできないようなものを相手にしなければいけないという、こういう実情にも今なっているという中での活動状況になってきます。

活動内容

- ☆毎月、定例会を実施
- ☆児童の見守り活動
- ☆児童への防犯教育（朝学）
- ☆危険箇所のパトロール
- ☆通学路の草刈り
- ☆小学校での安全安心教室
- ☆高齢者の安否確認
- ☆高齢者に対する防犯指導
- ☆防犯機能付き電話の広報
- ☆避難所運営支援
- ☆地域住民への防災教育



主には私たちとすれば子どもの安全を基本にしていますが、見ていただいて分かるように、活動内容としては児童の見守り、それからもう 1 つは珍しいと思いますが、児童への防犯教育もやっております。これは今、岡山県の方が「朝学」というような言い方で、対象は小学校の 1 年生、新入生としています。朝の学習が始まるちょっと前、約 10 分から 15 分程度、時間を頂戴して防犯に関するお話を大体 4 回行います。5 回行う場合もあり、連続でやる場合や、1 週間に 1 回ずつやる場合もあり、学校の都合に合わせて行います。そういう時に 1 年生の子どもに私たちの顔を見ていただき、それからこんな活動しているということを知っていただくことで、通学途中の皆さん方が私たちに手を振ってくれたり挨拶をしてくれたりします。基本的には子どもが対象ですが、高齢者の皆さん方の安全確保のほか、防災活動の方も私たちは自主防災会っていうのを別に設けていますが、隊員は同じです。自主防災会と青パトとの兼務をして、例えば、町の方が避難所を開く時、一番最初に開く避難所っていうのが私たちの地区にありますので、避難所を開いた場合には、私たちが後方支援をするという活動もしています。

また、一番長続きしているのは、毎月定例会を行っていることです。定例会の方は隊員も当然出席しますが、駐在所の方にも来ていただき、その中で今月の出来事や予測されること、あるいは高齢者の中で困っていることなど、行政の福祉課と連携をしながら情報を得ながら伝達しています。最近、こういったことは、個人情報ということで苦労していますが、私たちのところは、幸か不幸か 1000 人程のため、「どこそこのおばあさんが」と聞くと大体雰囲気分かるのです。ですので、名前を出さなくても皆さん方に理解をしていただけるという部分で、個人情報については気を付けて活動が続けていっています。

写真でいいますと、一番上が朝学の状況です。子どもたちを相手に説明をしています。真ん中が高齢者の皆さん方に防犯・特殊詐欺の関係の説明をしている状況です。今行政の方が録音が可能な防犯対策ができる電話機の補助事業も始めているので、対象の方々に 1 軒ずつお話をし、購入を勧めてい

ます。私たちは今、青パトとして特に何か異常時には当然活動しますが、非常時、例えば災害、台風がこれから来る場合、夜間でも時々青パトで管内を回ることがあります。そうした中で、やはり夜でもカーテン越しに青い光がなんとなく走っているのを見ると非常に安心ができるというような声を頂戴しています。駐在所の赤い回転灯とともに回ることもありますが、そういった本当に何気ない活動でも安心が少しでも高齢者の方に届く、またそれを皆さんが認めてくださっていることは非常にありがたいと感じているところです。

課題

自主防犯パトロール活動を行うに際し、定例会やパトロール活動等を行った際のお茶代等の諸雑費の捻出が困難であった。



課題の解決に向けた取り組み方策

平成18年、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の自動販売機の売り上げの一部をボランティア団体の支援に充てる制度があることを知り、「道の駅かもがわ円城」の責任者と協議の上、設置するに至ったもので、月1～2万円程度の支援金を得て、お茶代や防犯グッズの購入費に充てている。

今日皆さん方にお伝えしたい課題の部分です。皆さんの団体も行政の方の補助活動があると思いますが、私たちの街は補助が少ないので、少ない中で今後行政の補助金をどこまで支援してもらえるか、これも全く未定ですし、減っていく可能性がある中で、私たちの団体としては自主財源を持つべきではないかというような考えにいたりました。

課題解決に向けた取組の方を平成18年にコカ・コーラボトラーズジャパン、当時は西日本コカコーラなんかというお名前でしたが、変わってコカ・コーラボトラーズジャパン様で支援型自動販売機っていう事業があり、そちらに手を挙げさせていただきました。これは本当に私たちが何もすることがないです。自動販売機の詰め替えなども全くすることはなく、池の鯉じゃありませんが上向いて餌を待っているだけの状態です。

それでも私たちのところに、月に大体約1万円から1万5000円ぐらいのご寄付を頂いているのが実情です。そういった中でお金を頂戴しながら、定例会の時のお茶の代金やLEDの青色回転灯に随時切り替えていく資金として使わせていただいている状態です。また、グッズの購入や車両にデジタル無線を装着する資機材の調達を進めているところです。そのように、本当に有効に活用させていただいて、皆さん方が商品を買っていただくお金をもって私たちが活動できているという部分もあろうかと思います。こういうふうに資機材が増えていくなど皆さん方からご協力を得ているので、活動していかなければならないのではないかと

という気持ちに繋がり、何とか 19 年という歴史を重ねることができたというのが実情です。

先ほど申し上げたように、この自動販売機は私たち隊員の高齢化が進んでいても自動販売機が稼出す支援金っていうのはあまり変化がなく、何年か変動がありません。年間で 20 数万円は私たちの隊へ寄付をいただけるのかなと思っています。

私たちの隊としては、いろんな工夫しながら、とりあえず長続きできるように、そして、逆に言えば今後私たちが助けてもらわなければいけない時の将来の隊員をどうやって募集するかも課題だと思います。徐々には若い世代にも今入ってはもらっていますが、今働く世代が 60 歳定年だったものが 65 歳まで、多分数年の間に 70 歳までは働きましょうという時代が来ると思います。となると、逆に私たちが行けるとこまでやらざるを得ないと思いますが、体力は落ちてきますので、そこを資機材をいかに活用しながら長続きさせるかというのも視野に入れての活動になっていくかと思います。

色々なお話をしましたが、私たちとしては、このような活動をしながら、先程言ったように中山間という非常に条件の厳しい中で活動しているということをご理解していただきながら、そして多分皆さんも社会状況は違うと思いますが、運営費の捻出というのは非常に苦労されているかもしれません。私たちのような寄付型の自販機というのも視野に入れていくことも良いのかなと思います。また、皆さん方からも思いがあるようであればご質問いただければいいかなと思いますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。それでは私の方はこれでお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

講評

【大杉先生】

ありがとうございました。長年、非常に覚悟をもって努力されている姿が目に見えました。青パトをみて安心するという声があるというお話で、自分たちの地域防犯が安心感につながっているということは素敵だなと思いました。

「朝学」という活動と「防犯」という活動をされているというのは、素敵な活動だなと思いました。十数名の少ないメンバーで、小学校で、年に 4, 5 回防犯教育をしているという活動は、私もあまり聞いたことがありません。

防犯教育について少し伺いたいです。具体的にどのような教育をされているのでしょうか。顔をみてもらうということと、活動の紹介をされているということがあったかと思いますが、具体的なことを教えてください。

また、自主財源を持たれているところも頑張っているところだと思います。どうやって見つけたのか、やろうと決めたときにされたことなどを教えてください。

【発表者】

ありがとうございます。まずは「朝学」のほうからご回答させていただきます。

これは、岡山県の独自の取組です。幼稚園から小学校に上がった時に、新しい通学路になる。通学路に異常があった時に困ったりするのでというのが、まずひとつ。それから、防犯という知識を小さいときから

身につけてもらおうという思いがあります。

みなさんの地域でも何か異常があった時に飛び込んでいけるお家があると思います。「地域 110 番」という。そういったものの説明をしております。

県のほうからフリップをいただいて、フリップを使いながら説明をしております。例えば「どういう人が怪しいと思いますか」などです。フリップに怪しい人の絵が書いてあるんです。眼鏡の人や男性や女性など、そういう絵を示しながら、「誰が怪しいと思いますか」というところからスタートします。答えは、その 3 人はすべて怪しい人です。男女年齢関係なく、それはすべてがいい人ではないですよということを伝えています。

グッズについても、県の方から準備していただけるので、子どもたちに、カードを発行して、シールを貼っていきます。子どもたちが喜ぶように光るシールを用意しています。4 回分の定規やノートなどのグッズをくださるので、子どもたちも喜びます。また担当の警察署のほうからもグッズをいただけますので、楽しく子どもたちに参加してもらっています。

先ほどの怪しい人の話ですが、子どもたちに話をしているときに、会長に怪しくサングラスで変装してもらって、「この人は怪しい人ですか」と聞きます。また、学校の中でもあるかもしれないという説明をしています。学校側も怪しい人が入って来た時の合言葉を決めていますので、実際に行動できるのかどうなのか、職員室に集合するのかなども含めてっております。

このような「朝学」というものをやって、子どもたちにとって、地域の人がそのような取組をすることは、心強く思ったださることもあるかもしれません。我々の隊員の中にもお孫さんがいたりしますので、親しみが出てくるのかなと思います。

朝学という形で、今、1 年生に対してはそのようなお知らせをしていますが、ほかに「放課後児童クラブ」もあり、放課後児童クラブでの防犯・防災訓練も我々の方でやっています。怪しい人が入って来た時に、どう対処するか。これは指導員が、子どもたちをどういった避難経路で誘導するのかを再確認したり、いかに素早く、高学年の子どもが、低学年の子どもを連れていくかということも併せてやっております。避難は指導員だけでは足りませんので、高学年の子も使わないと、小さい子を非難させるのはなかなか難しいです。子どもたちにも防犯意識を根付かせていきたいと思っております。

また、隊員の中に 3 名の防災士がおります。救急法の講習会や消火器の使い方なども随時やらせていただいております。

次に、財源についてですが、岡山県の方から情報を頂戴しました。寄付金型の自動販売機が出るというものでしたが、早く取り掛かった方が有利だと思い、岡山県でも一番くらいに手を挙げさせていただきました。コカ・コーラボトラーズジャパンさんが、我々の地域に置かれている自販機のリストをくださったんです。その中に「道の駅」の自販機がありまして、人の行き来のある場所でしたので、そこを希望しました。すでに 3 台設置してあったため、4 台目の追加が難しい状況でしたが、他の設置場所を見つけてくれれば、寄付型自販機を設置してくれるということでした。地域で他の場所を確保して、1 つを移動して、我々の自販機を道の駅に設置していただいたという流れです。

現在 1 か月に 1000 本の売り上げがあります。この地域では 1000 本の売り上げがあるところはあまりありません。

防災の方のボランティア団体さんは、ある土木事務所のところ自販機を設置させてもらっているそうです。例えば、山の中にダムを造るという場合は、とても良い設置場所になります。売り上げはだいぶん上がります。事業者さんとしても社会貢献しているということで win win の話になります。

子どもたちがお礼の手紙を書いたのを持って行ったり、お米を持って行ったりしています。今後、そういうのが広がっていくといいなと思います。特に税金も支払うこともないので、素晴らしいシステムです。

【大杉先生】

ありがとうございます。大変勉強になりました。

花園地区コミュニティ協議会（香川県）



目を見て大きな声で挨拶・**見守りの一歩！**

～高めよう地域の防犯力～
【安全・安心なまちづくり】

2024年6月29日：中国・四国防犯ボランティアフォーラム

花園地区コミュニティ協議会
総合安全委員会

花園地区コミュニティ協議会



【青パトアナウンス】

「こちらは花園地区コミュニティ協議会青パト隊です。ただいま地域の巡回パトロールを行っています。子どもたちを狙った犯罪や交通事故が増えています。下校している子どもたちを見かけたら声をかけて子どもたちを犯罪や交通事故から守りましょう。小学生の皆さん、出かける時は必ずお家の人に行き先と帰宅時間を言うてから出かけましょう。皆さんの笑顔と挨拶で犯罪をなくして、安心安全な花園の街を作りましょう。こちらは花園地区コミュニティ協議会青パト隊です。ただいま地域の巡回パトロールを行っています。こちらは花園地区コミュニティ協議会青パト隊です。ただいま地域の巡回パトロールを行っています。空き巣、ひったくりなどの事件が増加しています。外出時はもちろん、在宅時も出入口、窓の鍵は確実にかけましょう。また、夕暮れ時、夜間は見通しが悪く交通事故が増えています。交通ルールを守る交通安全に努めましょう。皆さんの笑顔とご近所の声かけで犯罪をなくして安心安全な花園の街を作りましょう。こちらは花園地区コミュニティ協議会青パト隊です。ただいま地域の巡回パトロールを行っています。」



【花園はなちゃんの音声】

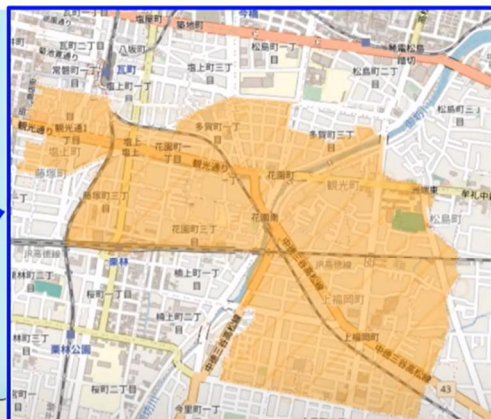
皆さんこんにちは。私はコミュニティマスコットのゆるキャラ花園はなちゃんです。本日は私から花園地区コミュニティ協議会の防犯活動高めよう地域の防犯力、安全安心な街作りを紹介します。よろしくお願いします。本日の発表内容です。

花園地区紹介、花園地区コミュニティ協議会紹介、総合安全委員会 活動内容、青パト、花っこ見守り隊、花っこひろば運営、ながら見守り、花いっぱい運動、まとめ、成果と課題。

【発表内容】

- ・花園地区紹介
- ・花園地区コミュニティ協議会概要
- ・総合安全委員会 活動内容
 - ・青パトの運行管理・情報共有会議
 - ・花っこ見守り隊運営【毎月第3木曜日実施】
 - ・花っこひろば運営（放課後子ども教室）
- ・ながら見守り（花いっぱい運動）
- ・まとめ（成果と課題）

【花園地区紹介】



花園地区コミュニティ協議会は、高松市中心部瓦町駅近く、観光通りをはさんで広がっています。2023年2月現在、4,582世帯8,046名が居住しています。



【花園地区紹介】

高松市中心部瓦町駅、幹線道路の県道牟礼中新線（旧国道11号線）



旧国道11号線

それでは、花園地区の紹介です。花園の地区は高松市の中心部に位置しており、最寄りの駅は、ことでん花園駅、JR 栗林駅です。近くに瓦町駅、幹線道路の旧国道 11 号線の観光通りが通る大変交通の便が良いところにあり、地区の西半分は古くからの住宅街、東半分は比較的新しい住宅街を構成し、住宅やオフィスが密集しています。

【花園地区紹介】

◆花園地区は、高松市の中心部に位置しており、最寄りの駅は、ことでん花園駅、JR栗林駅です。また、幹線道路の県道牟礼中新線（旧国道11号線）が通る大変交通の便が良いところにあり、住宅やオフィスが密集しています。



◆花園小学校、玉藻中学校、保育園は4園、予備校1校、近くに高校2校の教育のまちで、多くの子どもたちが通学しています。

◆地区の西半分は古くからの住宅街、東半分は比較的新しい住宅街を構成しています。周辺は、東浜村と呼ばれていましたが、大正10年に高松市と合併し花園町となりました。この地名は、江戸時代当地が一面の花で覆われ御花畑と呼ばれていたことに由来すると言われています。



また花園小学校、花園中学校、4つの保育園、予備校1校、近くに高校2校の教育の町で多くの子どもたちが通学しています。2023年2月現在、4582世帯 8046人が居住しています。地名の花園の由来は諸説ありますが、江戸時代当地が一面の花で覆われ、お花畑と呼ばれていたことに由来すると言われています。中心部に花園町の由来記念碑もあります。

【花園地区コミュニティ協議会】

花園地区コミュニティ協議会は、高松市中心部瓦町駅近く、観光通りをはさんで広がっています。「安全・安心なまちづくり」をモットーに、連合自治会をはじめ、自主防災連合会、老人クラブ、民生委員・児童委員協議会、体育協会、小・中学校、PTAなど地区内23団体が参加して平成16年6月26日に結成しました。

近年は～**高めよう地域の防災力・防犯力**～のスローガンでコミュニティ協議会総合安全委員会は、連合自治会、自主防災連絡会、青少年健全育成会、老人クラブ、民生委員・児童委員協議会、体育協会、日赤奉仕団、保健委員会、保・小・中学校、PTAなど各種団体で活動しています。

コミュニティ5大事業で、防災訓練、夏祭り、敬老祝会、町民運動会、文化祭など地域の多くの皆さんが気軽に参加でき「花園音頭」でふれあいの場づくりに努め、多くの人々が参加し交流しています。

コミュニティキャラクターの「花園はなちゃん」も大活躍しています。

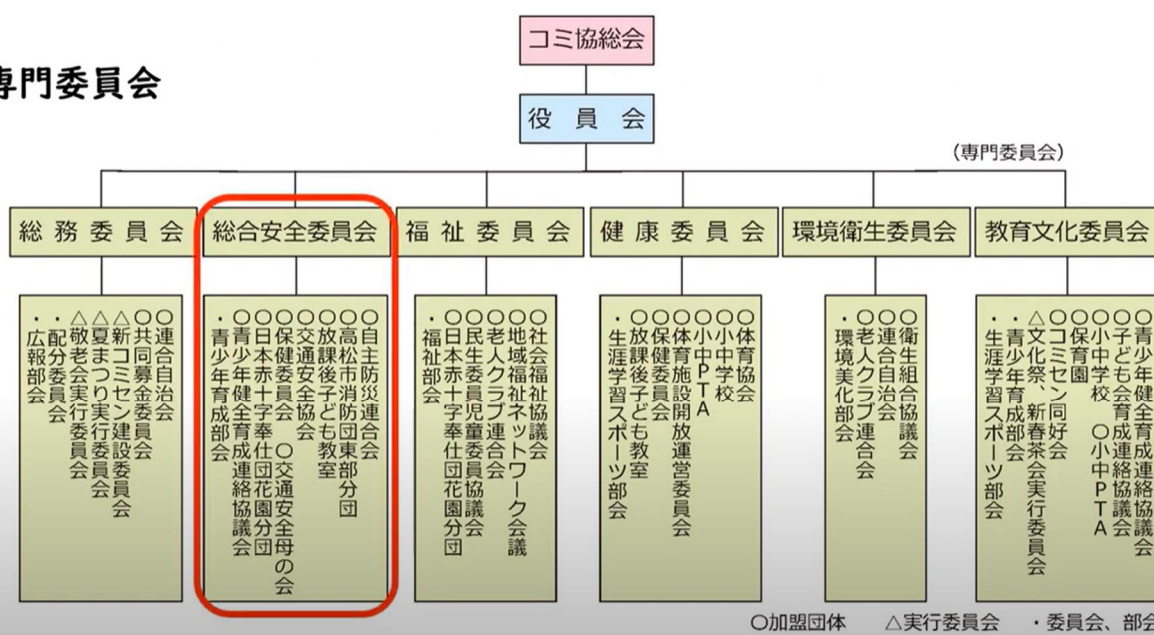


次に、花園地区コミュニティ協議会は、「安全・安心なまちづくり」をモットーに連合自治会をはじめ、自主防災連合会、老人クラブ、民生委員・児童委員協議会、体育協会、小・中学校、PTA など地区内23団体が参加して平成16年6月26日に結成しました。近年は～高めよう地域の防災力・防犯力～のスローガンでコミュニティ協議会総合安全委員会が設立されました。連合自治会、自主防災連絡会、

青少年健全育成会、老人クラブ、民生委員・児童委員協議会、体育協会、日赤奉仕団、保健委員会、保育園、小学校、中学校、PTA など各種団体で活動しています。コミュニティ協議会 5 大事業の防災訓練、夏祭り、敬老祝会、町民運動会、文化祭など、地域の多くの皆さんが気軽に参加して交流しています。また、夏祭り、運動会、文化祭等では、花園のオリジナルの「花園音頭」をみんなで踊って盛り上がっています。もちろん私も一緒に踊っていますよ。

【花園地区コミュニティ協議会 組織図】

◆ 6 専門委員会



コミュニティ協議会は 6 つの専門委員会があります。その中で防災防犯地域の安全安心を担当するのが総合安全委員会です。

【花園地区コミュニティ協議会 総合安全委員会】

前身団体として、平成18年4月1日に児童の登下校時の見守り活動を行うなど、地域の防犯意識の高揚を図ることを目的に「花園っ子見守り隊」を結成し、さらに平成24年青パト導入、花っ子ひろば（放課後子ども教室）開設に伴いコミュニティ協議会内で専門委員会として総合安全委員会を設立しました。

総合安全委員会は各種15団体と調整・協力して3部門の運営をしています。

- ・ 青パト巡視
- ・ 花っ子見守り隊
- ・ 花っ子ひろば 【放課後子ども教室】

総合安全委員会の、前身団体として平成18年4月1日に児童の登下校の見守り活動を行うなど、地域の防犯意識の高揚を図ることを目的に、「花園っ子見守り隊」を結成しました。その後、平成24年青パト導入、花っ子ひろば（放課後子ども教室）開設に伴い、コミュニティ協議会内で専門委員会として総合安全委員会を設立しました。総合安全委員会は、青パト巡視、花っ子見守り隊、花っ子ひろば（放課後子ども教室）の3部門の運営をしています。

【総合安全委員会】

平成24年青パト導入が決定すると町民に親しみやすい愛称を募集した結果、「花っ子パトちゃん」に決定しました。今や、花っ子パトちゃんが浸透して巡視中、子どもから「パトちゃん」と声をかけられます。

また、年2回（5月、11月）コミ協15団体で総合安全委員会を開催して巡視中の気付いた事など情報交換をして運行当番を決めて青パト巡視をしています。



また、関係 15 団体が参加して、年 2 回総合安全委員会情報交換会をして、危険情報・不審者情報等を共有し、地区内の安全を担っています。



それでは青パト巡視活動の発表です。平成 24 年青パト導入後、町民に親しみやすい愛称を募集した結果、小学生の応募した花っ子パトちゃんに決定しました。今や花っ子パトちゃんが浸透して、巡回中に子どもから「パトちゃん」と声をかけられます。コミュニティ協議会 15 団体で週 1 回以上、下校時、薄暮時、夜間、それぞれ団体の運行できる時間で 1 時間程度の巡視を実施しています。



青パト導入から 12 年の活動で、現在は 2 台目の青パトです。

また、青色回転灯、青パト実施者講習会も実施して、青パトを運行できる人も増えています。



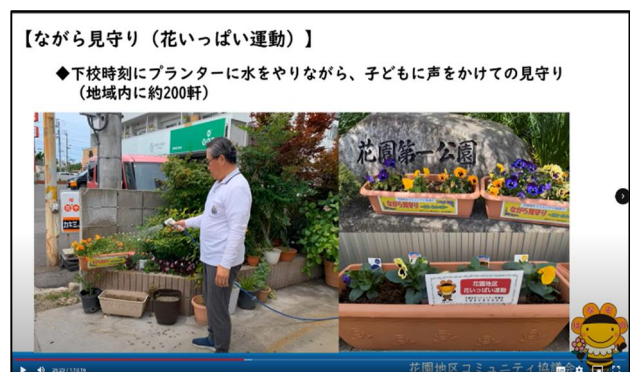
次に、花っ子見守り隊について発表します。連合自治会 37 自治会から見守り隊の募集をして平成 18 年に決定しました。結成当初は 55 人の隊員でしたが、現在は 32 人で平均年齢は 70 歳半ばです。見守り隊員は毎月第 3 木曜日の 15 時から 16 時に、校区エリア 8 箇所で見守り隊用ベストと帽

子を着用し、旗を持って下校時の立哨・見守りをしています。

コミュニティセンター掲示板に見守り日時を掲示してお知らせをしています。



花っ子ひろば（放課後子ども教室）は、コミュニティ協議会各種団体、PTA から見守りのボランティアを募集して開催しています。花園小学校は児童数約 200 人の学校で 90 人が花っ子に登録しています。



花っ子ひろばは、第2木曜日時の下校時の14時から16時まで、小学校の空きスペース、主に体育館運動場ピロティで子どもたちが活動しています。子どもたちを不審者、事故、喧嘩、怪我等が起きないように見守って、安全に過ごせる居場所作りをしています。

ながら見守り花いっぱい運動は、環境衛生委員会が担当して、令和4年1月に連合自治会37自治会から募集して、地区内に約200軒の参加者が登下校時刻に合わせてプランターに水をやりながら子どもに声をかける見守りをしています。花の苗は可能な限り年2回配っています。



子ども SOS 看板・不審者 NO！ポスター防犯啓発活動は、地区内のお店・施設・公園・交番など49箇所に設置して、地区全体の防犯意識を高めています。

【まとめ 成果と課題】

《成果》

◆青パト巡視、あいさつ運動、下校時や放課後子ども教室の見守り、地域行事（運動会・夏祭りなど）のパトロール、SOS看板、不審者NO！ポスターの掲示、ながら見守りの活動で地域住民の防犯意識が向上し安全で安心な街づくりに貢献しています。

《課題》

- ・花園地区は、高松市中心部に位置し近隣地区では、マンションが増えて、連帯性の欠如、個人の孤立化によるトラブルの増加。
- ・新型コロナにより、地域行事の減少により住民の交流の場が減少。

◎登下校時見守り、青パト巡視のボランティアが高齢化のため減少。

《今後の取組》目を見て大きな声であいさつ・地域の防犯力の向上！

・従来の防犯活動を継続する中、コミュニティマスコット・コミキャラ「花園はなちゃん」で地域住民が顔見知りになれる地域ふれあい交流活動を行う。



▶ 29:25 / 1:10:16

花園地区コミュニティ協議会

まとめとして、成果と課題、今後の取組です。成果は、青パト巡視、あいさつ運動、下校時や放課後子ども教室の見守り、地域行事、運動会、夏祭りなどのパトロール、SOS 看板、不審者 NO！ポスターの掲示、ながら見守りの活動で地域住民の防犯意識が向上し、安全で安心な街づくりに貢献しています。

課題は、花園地区は高松市中心部に位置し、近隣地区ではマンションが増え、人々の関わりが薄くなり個人の孤立化も増えています。新型コロナで地域行事が減少し、住民の交流の場が減り、周りの人や地区に無関心な人が増え、地域活動の不参加、隣人トラブルなども増えています。登下校見守り、青パト巡視のボランティアが高齢化して引退者が増えています。50 歳から 70 歳の町民や保護者は、まだまだ仕事があり、新規ボランティアの参加が難しい状況です。

今後の取組は、従来の防犯活動を継続しながら中止していた地域行事を、ウィズコロナ、アフターコロナで人と人との距離を縮めて、住民が顔見知りになれるような触れ合い交流活動の再開。目を見て大きな声で挨拶・地域の防犯力の向上。私も頑張ります。

以上、花園はなちゃんからの発表でした。

【結語】

地域住民に寄り添った防犯活動！

～目を見て大きな声であいさつ・地域の防犯力の向上～



花園地区コミュニティ協議会

はなちゃん発表ありがとうございました。

それでは、これから総合安全委員の私とコミュニティ協議会会長の松原が発表します。まず冒頭に流れていたアナウンスですが、青パトの巡視時に流しています。2 種類のアナウンスで下校時の子ども用と薄暮時の地域住民用です。声は松原会長の奥さんの声です。平成 24 年、青パト巡視活動から流しています。

私達の防犯活動は、決して派手で大きな活動はしていませんが、住民が防犯意識を高められるよう 1 人 1 人に寄り添って、みんなが顔見知りの関係ができるよう何回も繰り返し、防犯を呼びかけて安全安心で、住みよい街づくりをしています。また、日頃より見守りに立っている当協議会の松原会長のアイディアで、少ない人数でも効率よく高範囲な見守りができるよう分散型見守りをしています。

寄り添う見守りで、いつもの時にいつもの子どもが通らなかったら、すぐに学校、コミュニティセンター等、関係各所に連絡をして情報を共有しています。このような関係は、日頃より見守りの声かけを通しての関係でできています。

また、青パトの花っこパトちゃん愛称がついていて、みんなはただの青パトでなく仲間のように接して親しみやすい存在になっています。当時子どもたちももうすぐ 20 歳です。今でも巡視をしていたら、振り向いて照れくさな顔をして挨拶をしています。

花園では、はなちゃん、花っこパトちゃん、子どももお年寄りも親しみやすい大人気の 2 大コミュニティキャラクターがいます。人と人との繋がりを大切にしています。



最後のスライドは、子どもの視線に合わせて目を見て話しているところです。子どもも安心して見守り隊の人と笑顔で話してくれます。また、子どもから色々と不審者情報、危険箇所情報、学校生活などの話をしてくれることもあります。これからも、将来、この子どもたちが大人になって今度は見守りをしてもらえるような 1 人 1 人に寄り添った見守りをしていきたいと思います。

本日はご清聴ありがとうございました。

講評

【大杉先生】

発表ありがとうございました。はじめに元気をいただきまして、アピール力もあり伝わるものがありました。そういうところから笑顔と声掛けで安全を確認していきましょうというところがあったと思います。すごく私にも響きましたし、住民のみなさんにも届いているんだろうなと感じました。

大きな地区で色々活動していく中で、課題を抱えながらやっていらっしゃるとのことでした。

青パトにも愛称がついているのは、素敵だなと思いました。会員メンバーが多いところだと伺いました。色々な協議会と連携して活動されているのを感じましたが、多くの会と連携しているからこそ、その分多角的に活動されているようにお見受けしました。情報交換会を行っているという話がありましたが、どういう形で行っているのかお伺いできますか？

それから、大きな声で挨拶するということ、これは、万引き犯も大きな声で「いらっしゃいませ」といわれるとひるむという話もあります。本当に挨拶は大事なことだと思っているので、引き続きお願いします。

幼稚園に苗を配布しているのも素敵だなと思いました。年に 2 回配布していらっしゃる、その配布についても詳しく教えてください。

【発表者】

まず情報交換ですが、年に2回、代表者すべてに集まってもらっています。目的は青パトの運行表を作ること、ローテーションを組んでいきます。各代表の欠席は困るので、来られない場合は、代理が出席するなど全員参加となっています。半年間の週のスケジュールが決まります。みんなの前で組んで、同時に情報共有をしていきます。そのときに、青パトの運行日誌を提出しています。時間などが記載されています。時間だけでなく、この日に運行していたときに、こういうことがありましたなどの記載もあります。団体は、PTAの団体もあれば、老人の団体もあり、さまざまな団体で運行しているので、安全の見方が違うところもあります。

高齢者の団体や民生委員の団体は、子どもの15時、16時の下校時に運行していることが多いです。PTAなどの若い人の団体は、仕事があるので、夜18時ごろなどに運行していることが多いです。夜の視点、夕方の視点、昼の視点の情報共有を行います。

花いっぱい運動は、最初は、高松北署からこんな活動もあるということで情報を得て、プランターに苗を植えて始めました。これは一回限りではいけないと思い、経費のかかることではありますが、花いっぱいになくてもいけないので、できるだけ軒下で、子どもたちが通るところにプランターを置いてもらおうと、連合自治会の方に呼びかけを行いました。はじめに環境衛生部から連合自治会に依頼して、プランターを置いてもらえる人はいないかを募りました。なかなかいなかったのですが、説明をしていくごとに手が挙がるようになりました。200軒ぐらいになります。冬の花、夏の花は全然違うので、両方に花が出るようにしなくてはいけない工夫もありますが、プレートに「花いっぱい運動 見守り」と書いてあり、それを見える位置に置くということで、そこを通りかかる人に、防犯意識が高いという印象を与えるということです。

【大杉】

ありがとうございます。

学生防犯ボランティア団体 スリーアローズ（広島県）



広島県から参りました、広島県学生防犯ボランティア「スリーアローズ」です。ここからは、私たちスリーアローズの活動を紹介していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。まずは私たちの自己紹介させていただきます。まず私が広島修道大学 4 年生のスリーアローズ代表の亀田湧摩です。広島大学 3 年生、小島万莉菜です。本日はよろしくお願いします。



それでは早速、紹介に入っていきます。スリーアローズの概要について簡単に説明させていただきます。

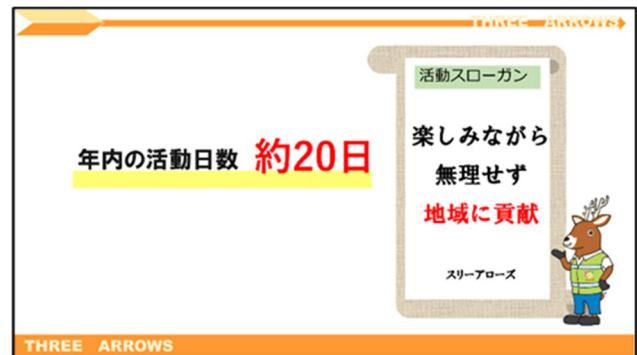
まずスリーアローズは、子どもや女性をはじめとした全ての人々が安全で安心して生活できる街づくりのために、平成 22 年 8 月に警察庁から「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業」実施団体として指定された、現役大学生によって形成された防犯ボランティア団体です。警察庁指定防犯ボランティア事業はすでに終わっていて、令和 6 年度 6 月時点では「学生防犯ボランティア スリーアローズ」となっております。現在は、広島修道大学の学生 53 名、安田女子大学の学生 4 名、広島工業大学の学生 4 名、広島大学の学生 2 名、福山平成大学の 2 名の合計 5 大学計 65 名で、広島県警の方や他のボランティア団体の方と連携しながら広島県内各地で様々な防犯活動に携わっています。

このスリーアローズという団体名について、名前は何が由来になっているかちょっと思いつく方いますか。いたらちょっと手挙げてください。ヒントとしては広島県の有名な大名の方がいてその人の言葉がモチーフになっています。誰か発表してくださる方いませんか。

【会場参加者】大名の毛利元就の「三本の矢」から来てるんじゃないかなと思います。

【発表者】はいありがとうございます。おっしゃる通り、その通りですありがとうございます。拍手をお願いします。

今おっしゃってくださった通りで広島県の有名な大名、毛利元就の言葉で、1本の矢なら簡単に折れるが3本まとめて束にすれば折れない、それと同じように3人が力を合わせれば誰にも負けることはないという3人の息子に対して強い結束力を促すために言われた言葉です。私たちの団体名もこのスリーアローズと3本の矢にしたのは、まずメンバーが結束力を持って犯罪を抑制するために動き、またメンバーと地域が協力して犯罪に負けないという気持ちを持つためにこの団体名になりました。



ちなみに私たちスリーアローズにはもう1つ色について特徴があり、色が朱色、あとこのベストが朱色です。防犯ボランティアを想像すると、大体緑色を想像すると思います。私たちはこの朱色のジャケットベストを着ています。広島県は、例えば、プロ野球チーム広島東洋カープというチームカラーが赤、観光名所に宮島という場所がありますが、その厳島神社の大鳥居が朱色であったり、あとは名産物のもみじ饅頭のもみじが朱色であったり、赤や朱色というのが広島県のカラーとなっています。私たちもこの色を取り入れてイメージカラーを朱色としています。防犯ボランティアは、地域への愛着というのも重要な要素になると考えていて、私たちも自分の街、広島県が本当に好きで愛着持ちながら活動に取り組んでいるところです。

続きまして、私たちの活動頻度について説明をさせていただきます。まず私たちの活動スローガンは、「楽しみながら無理せず地域に貢献」ということで団体メンバーと連絡を取り合いながら、年間約20日の活動を行っています。イベントへの参加や子どもの見守り活動等、不定期的に活動を行っていますが参加できる時に自由に参加することとしています。

もう1つクイズです。この右下の鹿のキャラクターを見たことある人もいるかと思います。このキャラクターの名前知っている人いたりしますか。お願いします。はい、その通りです。モシカ君です。モシカ君についても説明させていただきます。

これは、「『減らそう犯罪』広島県民総ぐるみ運動」のマスコットキャラクターの「モシカ」と言って、防犯についてもっとしっかり考えようと県民の皆さんに呼びかけたいという思いから、もっとの「も」、しっかりの「し」、考えようの「か」、を取って「モシカ」という風に名付けられています。

ではなんで鹿なのか。鹿は先ほども言った、広島県には観光名所「宮島」というところがあって、そこは鹿がたくさん生息しています。また、鹿は、自衛意識が高く、群れをなして生息する習性があることなどから、「『減らそう犯罪』県民総ぐるみ運動」の意識づくりと地域づくりに通じています。その他にも、スリーアローズ

の活動計画や活動方針を決める定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会なども開催しています。

THREE ARROWS

活動内容

1. 防犯パトロール、子供の見守り活動
2. 全国地域安全運動・年末特別警戒等の各種防犯イベントへの参加
3. 若い世代の規範意識や防犯意識の向上を目的とした広報啓発活動
4. 各種犯罪防止を目的とした広報啓発活動
5. 地域安全活動に資すると認められる活動等



THREE ARROWS

ここからは活動内容について紹介していきます。スリーアローズの活動は主に 5 つに分類することができます。

まず 1 つ目が、「防犯パトロール、子どもの見守り活動」

2 つ目が、「全国地域安全運動・年末特別警戒等の各種防犯イベントへの参加」

3 つ目が、「若い世代の規範意識や防犯意識の向上を目的とした広報啓発活動」

4 つ目が、「各種犯罪防止を目的とした広報啓発活動」

5 つ目が、「地域安全活動に資すると認められる活動等」

となっております。

THREE ARROWS

主な活動状況



THREE ARROWS

THREE ARROWS

啓発行事での防犯広報活動

「減らそう犯罪」全国地域安全運動街頭パレードへの参加



THREE ARROWS

ではここからは、今紹介した 5 つの内容について詳しくさらに紹介します。まず 1 つ目、私たちの活動の 1 つに県内で行われるイベントや警察・自治体などが主催する防犯啓発活動などへの参加があります。写真は「本通商店街」で、昨年秋に行われた、「減らそう犯罪」全国地域安全運動の街頭パレードに参加した時のものです。広島市内の「本通商店街」というところを警察音楽隊を先頭に、通行人や買い物客などに事件事故の防止を呼びかけました。

啓発行事での防犯広報活動

THREE ARROWS

2024ひろしまフラワーフェスティバルへの参加①



ポリスマンパレードでの広報活動

THREE ARROWS

次は、県内最大級のイベントフラワーフェスティバルというものがあり、様々な団体が参加する花の総合パレードというものがあります。そこに私たちスリーアローズが警察本部の方たちと参加して、特殊詐欺などの防犯広報を行いました。これがその時の写真になります。パトカー、白バイも一緒に歩きました。

啓発行事での防犯広報活動

THREE ARROWS

2024ひろしまフラワーフェスティバルへの参加②



警察本部広報用ブースでの広報活動

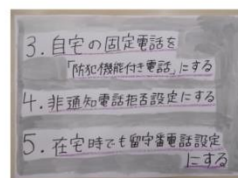
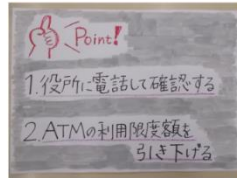


THREE ARROWS

続いて、これもフラワーフェスティバルの様子にはなりますが、このパレードに参加した後に、広島県警察の広報用ブースで、来場した子どもたちに防犯クイズや交通ルールに関するクイズを行って、参加してくれた子どもたちに風船をプレゼントしたりもしました。犯罪を減らすためには、もちろん警察や私たちボランティア団体が防犯活動に取り組むことも非常に大切ですが、それ以上に大切なのが地域住民の方 1 人 1 人が防犯活動に関心を持って、当事者意識を持つようになることだと考えています。こうした防犯啓発活動など、私たちの活動を通じてより多くの方に防犯に関心を持ってもらうことで、地域全体での防犯意識を高めていきたいというふうに考えています。

防犯紙芝居による被害防止広報

THREE ARROWS



公民会で開催された防犯講話に活用

※紙芝居一部抜粋

THREE ARROWS

その他、県内各地で行われている地域行事の参加もしています。

これは、多発する特殊詐欺の防止を呼びかけるために、メンバーで作成した防犯紙芝居になります。この紙芝居は、高齢者の方に向けて実施した防犯講話で使用したものにになります。この講話を通じて、高齢者の方に詐欺に対する当事者意識、防犯意識を持ってもらって、自分や家族が被害にあって悲しい思いをしてしまうことがないようにしてもらいたい、というような思いで活動しました。この紙芝居で広報することの良いこととしては、実際に紙芝居をやりながら、見てくださってる方の表情や反応を見ながら話を進めていくことができるので、反応を見ながら適宜説明等を入れることで、より聞いてくださってる方の理解を深めていくことができるところだと感じています。

他団体と協働した活動

THREE ARROWS

登下校時の子ども見守り活動①



西条住民自治協議会と協働する見守り活動

THREE ARROWS

引き続き、活動状況について説明させていただきます。私たちスリーアローズは、単体での活動だけではなく、県内で活動するボランティアの方々等と共同した取組も行っています。こちらは、広島県東広島市の西条住民自治協議会の方とともに、子どもの見守り活動をしているものです。東広島地区では、西条駅

前で月 1 回朝 7 時からこの活動を行っています。西条駅前の横断歩道は、車の通行量が多く、信号のないところもあるのですが、毎朝そこを登校班が 10 班ほど通ります。朝の通勤通学の時間帯に子どもたちが安全に登校できるよう、この協議会の方は毎朝見守り活動をしてくださっていて、そこに月 1 回ご一緒させていただく形で見守り活動を行っています。小学生や駅を利用する方と挨拶をしながら見守り活動をするのはとても気持ち良く、毎回子どもたちから元気をもらっています。

他団体と協働した活動

THREE ARROWS

登下校時の子ども見守り活動②



安学区防犯組合と協働する見守り活動

THREE ARROWS

次に、こちらは広島市の安佐南区というところで、安学区防犯組合と共同する子どもの登校時の見守り活動を実施しているものです。広島地区ではこの広島市安佐南区にある安小学校という小学校で、月 1 回下校の時間の 15 時頃にこの活動を行っています。活動を行うのは毎月火曜日で、小学校が一斉下校をする日になっています。安小学校の周辺は交通量が多くて幅が狭い道もたくさんあるため、このスリーアローズのメンバーや安学区防犯組合が協力して、小学校の下校をサポートしています。下校中の小学生からたくさん挨拶をもらって、「帰りました」とか「さよなら」と言ってもらえるので、とても楽しく活動ができています。

防犯ボランティア行事

THREE ARROWS

「広島県安全・安心アカデミー」への参加



THREE ARROWS

若い世代の規範意識や
防犯意識の向上を目的とした広報活動



THREE ARROWS

その他、広島県警が県内 2 か所で毎年行っている、「防犯ボランティア研修会」、「広島県安全・安心アカデミー」に参加し、地元の防犯ボランティアと意見交換を行い、若者世代ならではの意見を提案したり、地域の防犯ボランティアの実績や課題について学びました。

また、事業者や関係団体と協働した情報発信も行っており、その取り組みの1つに広島駅周辺での広報活動があります。

事業者等と協働した地域安全活動

THREE ARROWS

街頭防犯キャンペーン



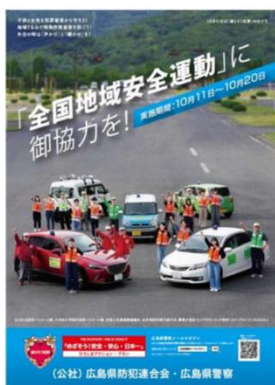
広島駅構内におけるちかん追放キャンペーン
(JR西日本中国統括本部等と協働実施)

THREE ARROWS

こちらがその時の写真です。画像は去年のものになりますが、JR 西日本中国統括本部と協働して、ちかん追放キャンペーンを実施した時の写真になっています。通勤中の方に痴漢の注意喚起をするとともに広島県警察安心安全アプリ「オトモポリス」のPR活動を実施しました。広島駅ではセキュリティ関連団体と協働した侵入窃盗防止に関する広報活動も実施しました。

自主防犯意識の醸成を目的とした広報啓発活動

THREE ARROWS



全国地域安全運動広報用ポスター



ボランティア拡充ポスター

THREE ARROWS

次に、こちらが警察と共同した広報媒体の作成に携わったものです。それぞれ私たちと同世代になる若い人たちに向けたメッセージを盛り込んだものや、県内で活動する青パト実施団体の方たち、防犯ボランティアの方たちのPRも兼ねて、幅広い世代を対象にしたポスター作りを目指しました。

左側のものが全国地域安全運動広報用ポスターで右側がボランティア拡充ポスターになっています。

各種犯罪防止を目的とした広報啓発活動

THREE ARROWS



県内の自転車プロロードレースチームと協働した防犯広報用ポスターの作成



自転車盗防止に関する広報啓発ポスターの作成

THREE ARROWS

他に、各種犯罪防止を目的としたポスターも作っており、自転車のマナーアップや盗難防止を目的として、左側のプロ自転車ロードレースチームの方たちと協力して広報用のポスターを作成したり、右側のアーティストさんのジャケットを参考にして作った「自転車の鍵をかけよう」という盗難防止のポスターになっています。こういった若い世代の関心を集めるためのポスターも作りました。

課題

THREE ARROWS

1. 若者世代の防犯活動における参加促進
2. 地域住民による自主防犯意識の醸成
3. 幅広い世代に向けたわかりやすい犯罪情報の発信

THREE ARROWS

課題の解決に向けた取組方策

THREE ARROWS

1. 若者世代の防犯活動における参加促進

- ▶ 警察本部や関連団体の防犯ポスター・チラシ制作に協力
- ▶ 街頭キャンペーンや県内各地で行われる防犯活動に参加

2. 地域住民による自主防犯活動の醸成

- ▶ 警察主催の地域住民に向けた防犯研修会などに積極的に参加
- ▶ 地域の防犯ボランティアと協働して防犯活動を実施

3. 幅広い世代に向けたわかりやすい犯罪情報の発信

- ▶ SNS（インスタグラム）で活動内容を発信
- ▶ 高齢者を対象にした防犯講座に参加し犯罪手口を広報



THREE ARROWS

次に、スリーアローズの活動の課題として3つ上げました。

1つ目に、「若者世代の防犯活動への参加促進」

2つ目に、「地域住民による自主防犯意識の醸成」

3つ目に、「幅広い世代に向けたわかりやすい犯罪情報の発信」

を挙げました。

これらの取り組み方策として、まず1つ目の「若者世代の防犯活動における参加促進」については、先程紹介した各種ポスターを作成することで、若い世代に防犯ボランティア活動に興味を持ってもらい、活動者の定着を図っています。その他、後輩の育成や啓発活動にも力を入れたいと考えており、メンバーの勧誘を進めながら活動の幅を広げていきたいと考えております。

2つ目の「地域住民による自主防犯意識の醸成」のためには、県内各地の地域行事に参加し、多様な年代の防犯活動者との意見交換を通じて、地域との課題解決に努めています。若い世代のボランティアが活動することで、地域住民の方の目に止まり活動に興味を持ってもらったり、参加のハードルを下げたりできるのではないかと考えております。

3つ目の取組方策として、子どもを対象とした情報発信のためには、広島県環境県民局県民活動課が主催する、地域安全マップ作り研修会等で得た知識や経験を生かして、そこで得た知識や経験を今後は各小学校にフィードバックできるようにしたいと考えております。高齢者を対象とした情報発信のためには、先ほどご紹介しました防犯紙芝居だけではなく、タイムリーな犯罪、例えば特殊詐欺などに関する寸劇を行ったり、短時間動画を撮影するなどして、各地区で防犯講話の際に視聴してもらうなど、わかりやすい情報発信活動を行っていききたいと考えております。

学生防犯ボランティアの今後に向けて

THREE ARROWS

私たちの願い

防犯ボランティアを通じて
地域の方との繋がりを感じながら
地域全体の防犯意識を高めていき、
安全・安心な広島県のまちづくりに
貢献したい！



ご清聴ありがとうございました

THREE ARROWS

END

では、最後に私たちの願いについてです。

防犯ボランティアを通じて地域の方との繋がりを感じながら、地域全体の防犯意識を高めていき、安全安心な広島県の街づくりに貢献したいと思っています。私たちスリーアローズの活動は、広島県警察や地域ボランティアの方、地域住民の方といった本当にたくさんの方々の協力があってできているのだと思っています。こうした地域の繋がりというのを大切にしながら、誰もが安全安心を実感できる広島県の実現に向けて、これからも活動に取り組んでいきたいと思っています。

以上でスリーアローズの活動紹介を終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

講評

【大杉先生】

ありがとうございました。実は6月にお会いしておりましたが、今回聞かせていただいて、幅広く活動なさっていることにびっくりしました。

地域の防犯ボランティアと協働していくために、工夫して活動されているところをご質問させていただきたいと思います。

まず、学生自身が主体的に、この団体をしっかりと運営しているというところに、私は大学教員としてもすごく感心しております。しかも複数の大学が連携して、しっかりとまとめ、65名もいながら活動しているというところで、何かコツがあるのではないかと思いますので、お聞きしたいと思います。大学生は、色々な授業があったりで忙しくしている中で、ボランティア活動を継続的にこなしていることは素晴らしいことだと思います。

また、メンバー募集はどうしているのか、どのように引継ぎをおこなっているのか、教えていただきたいです。そして、地域や他団体とのつながりについて、自分たちから何かを呼びかけて協力して行っていることがあるのか、地域とはどのように繋がっているのかを教えていただきたいです。

【発表者】

ご質問ありがとうございます。まず 1 つ目の色々な大学の学生がたくさんいる中で、どうやって活動をまとめ、進めていくかということなんですけども、年に数回定例会という学生同士が意見を交換する会を設けています。

学生がどのような活動をしたいかを意見交換し、警察の方からは、現在の県内の犯罪情勢を学ばせていただいたり、防犯の知識を身に付けたりしています。

そういった自分の考えをメンバーと共有して、意見を交換する場を設けることが非常に大事だと思っていて、人数が多くなればなるほど、人それぞれ考え方も違いますし、方向性というのも変わってくるので、そういった擦り合わせる場を設けるのが、人数が多い団体が活動していく上で重要なことだと感じています。

募集方法についてですが、一番多いのは、後輩にあたったり、大学内で友人にメンバーの募集を呼びかけたりすることです。SNS、Instagram を設けているので、SNS を使って大学 1、2 年生に広報して募集を行っていききたいと思います。

最後に、地域とのつながり方ですが、県警の生活安全課の方から紹介を受け、つなげていただけることがあります。逆に、私たちがやりたい活動があれば、警察の方を通じて、やりたいこととマッチするような活動の団体とつなげていただくことがあります。以上です。

【大杉先生】

県警の方がコーディネートしてくださっているんですね。ありがとうございます。私も福山と広島とで一緒に活動できたらいいなと思いつつも、距離もあるので一緒に活動するということが難しいですが、地域安全マップのような知識の交流などの活動もしております。SNS はフォローしておきます。

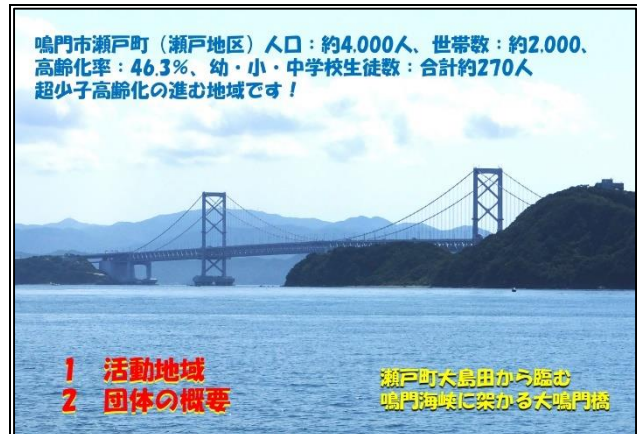
【発表者】

活動もどんどん増やしていきますので、Instagram のチェックをお願いします。

瀬戸町防犯パトロール隊活動報告（徳島県）



皆さんこんにちは。発表者の瀬戸町防犯パトロール隊隊長の緒方明人でございます。パワーポイント操作は鳴門警察署生活安全課の曾川亜希でございませう。本日は、このような素晴らしい会場で私たちの取組を発表できますことをとても嬉しく思います。



それでは活動報告を始めます。私たちの活動する瀬戸町は徳島県鳴門市の北東部に位置する、豊かな自然に恵まれた非常に住みよい地域でございませう。沿岸部は小鳴門海峡に面しており瀬戸内海国立公園に指定されています。瀬戸町は深刻な過疎化、少子高齢化の進む地域です。人口約 4000 人、世帯数約 2000、高齢化率は、なんと 46.3%です。子どもたちの数も少なくなり、現在幼稚園、小学校、中学校全ての生徒数を合わせても 270 人ほどです。



盛んであった漁業も後継者不足などの理由で衰退の一途を辿っています。そのような状況の中、頑張っています。わかめの養殖だけは盛んです。小鳴門海峡から播磨灘にかけて激しい潮流にもまれて育ったコシのあるわかめこそが、地域の特産品です。その味は絶品です。

瀬戸町防犯パトロール隊の歩み

平成23年3月18日 「瀬戸町防犯パトロール隊」結成説明会兼「青色回転灯防犯パトロール車講習会」開催

平成23年4月01日 「瀬戸町防犯パトロール隊」発足！

平成23年6月23日 「瀬戸町防犯パトロール隊」出発式。
6台17名で初パトロール実施。

平成23年7月13日 毎月第2第4水曜日、夜間パトロール開始
(小・中学校の先生・PTA参加)

平成24年5月09日 明神小、瀬戸中学校登下校時パトロール開始

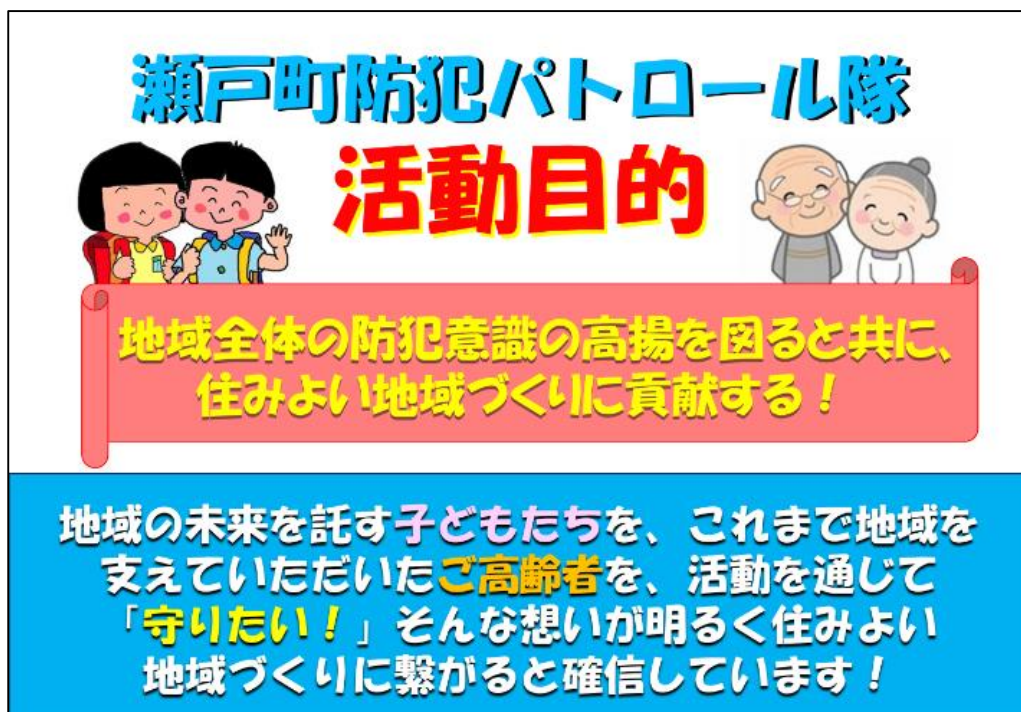
平成28年1月24日 防犯チラシを作成の上、新聞折り込み及び
各学校並びに通学路に面した住宅に配布。
(鳴門市防犯協会の支援を受ける。)

今日は、瀬戸町防犯パトロール隊の歩み 6 項目について発表いたします。各項目別に活動内容等を含め説明をさせていただきます。

平成 23 年 3 月 18 日瀬戸町防犯パトロール隊の結成説明会及び鳴門警察署による青色回転灯防犯パトロール車講習会を開催いたしました。その席で満場一致で承認されました。そして 4 月 1 日に正式に発足いたしました。



瀬戸町防犯パトロール隊のスローガン、ハート♥Ⅰです。「瀬戸地区の子どもは、瀬戸地区で守ろう！」です。スローガン、ハート♥Ⅱ、これは「瀬戸地区を築いてくれた、ご高齢者を敬おう！」です。



瀬戸町防犯パトロール隊の活動目的です。「地域全体の防犯意識の高揚を図ると共に、住みよい地域づくりに貢献する！」です。地域の未来を託す子どもたちを、これまで地域を支えていただいたご高齢者を、私たちの活動を通じて「守りたい！」、そんな思いが明るく住みよい地域づくりにつながると確信いたしております。その後、活動に必要な手続きを経て、平成 23 年 6 月 23 日「瀬戸町防犯パトロール隊の出発式」を迎えました。

瀬戸町防犯パトロール隊の歩み

平成23年3月18日 「瀬戸町防犯パトロール隊」結成説明会兼
「青色回転灯防犯パトロール車講習会」開催

平成23年4月01日 「瀬戸町防犯パトロール隊」発足！

平成23年6月23日 「瀬戸町防犯パトロール隊」出発式。
6台17名で初パトロール実施。



出発式は鳴門市長様、当時の鳴門警察署長様を含め、多くのご来賓の皆様をお迎えして瀬戸公民館において盛大に挙行されました。宣誓「我々、瀬戸町防犯パトロール隊は、各種法令やルールを遵守し、自主防犯パトロール活動を通じて、事故犯罪の未然防止、並びに地域全体の防犯意識の高揚を図り、住みよい明るい地域づくりに貢献することを誓います。」

出発式の後、6台17名で初パトロール出発しました！



出発式が終わり、出席した隊員 17 名が 6 台のパトロール車に分乗し、盛大な見送りをいただきながら、順次初めてのパトロールに出発いたしました。

瀬戸町防犯パトロール隊の歩み

平成23年3月18日 「瀬戸町防犯パトロール隊」結成説明会兼
「青色回転灯防犯パトロール車講習会」開催

平成23年4月01日 「瀬戸町防犯パトロール隊」発足！

平成23年6月23日 「瀬戸町防犯パトロール隊」出発式。
6台17名で初パトロール実施。

平成23年7月13日 **毎月第2第4水曜日、夜間パトロール開始**
(小・中学校の先生・PTA参加)

3 活動内容②

「瀬戸町防犯パトロール隊」 夜間パトロール！実施要項

☆隊員数	22名(男性:17名、女性:5名)
☆使用車両	2台(定員12名)
☆実施日	毎月、第2・第4水曜日
☆集合場所	瀬戸公民館駐車場
☆出発時間	5月～10月 19:30 11月～4月 19:00
☆パトロール地域	明神地区(1台)・堂浦北泊地区(1台)

☆地域の皆さんの参加を歓迎します。集合時間に公民館へ！
一緒にパトロールしませんか！子供たちの安全を確保しましょう！

平成 23 年 7 月 13 日、活動日を毎月第 2、第 4 水曜日と定め、夜間パトロールを開始いたしました。現在の夜間パトロール実施要項です。隊員数 22 名男性 17 名女性 5 名です。毎月第 2 第 4 水曜日に瀬戸公民館の駐車場に集合し、2 台の青パト装着車でパトロールを実施しています。第 2 水曜日には地元、明神小学校の先生と PTA が、第 4 水曜日には、瀬戸中学校の先生と PTA の皆さん 2 名から 4 名に参加いただいています。



出発までの時間とパトロール中の車内では、ご父兄や先生方と防犯パトロールの目的や子どもたちの安全対策などを話し合い、防犯意識の高揚を図っております。今回は第 2 水曜日、明神小学校のご父兄 2 名に参加いただきました。

第 4 水曜日には、瀬戸中学校の先生 1 名とご父兄 3 名に参加していただきました。2 台の車に分乗して出発です。



2台の車に分乗してパトロール出発です！

3 活動内容①

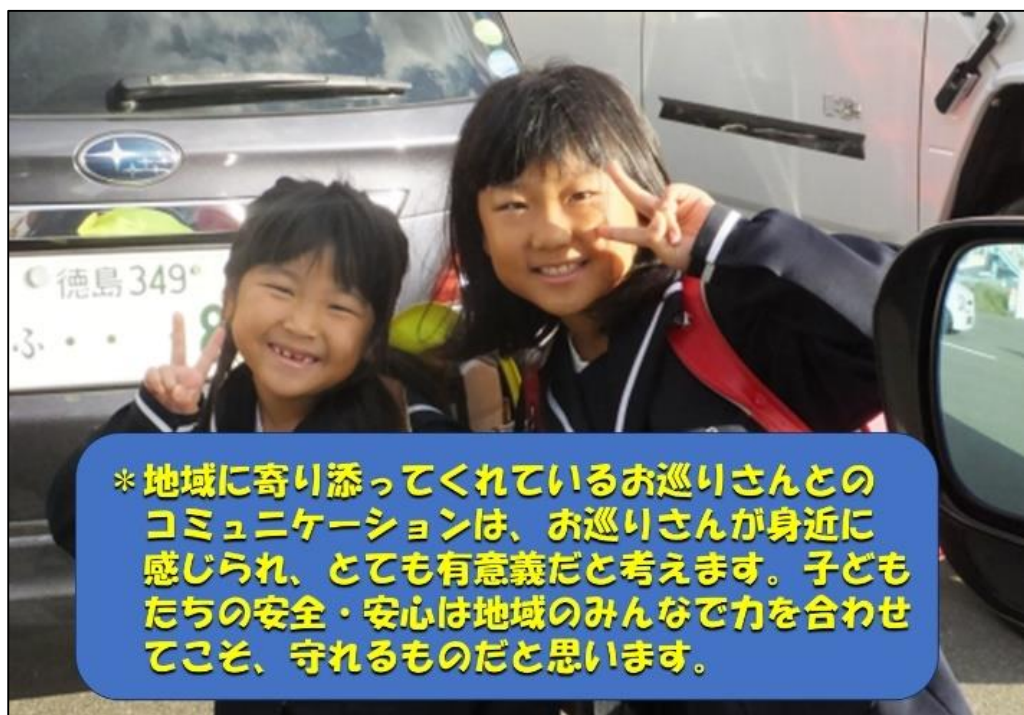
瀬戸地区補導員連絡協議会との 合同夜間パトロール実施要項

☆参加者	補導員・PTA&先生・青少年センター パトロール隊隊員・お巡りさん
☆使用車両	3台(定員17名)
☆実施日	毎月、第1金曜日
☆集合場所	瀬戸町駐在所
☆出発時間	5月～10月 19:30 11月～4月 19:00
☆パトロール地域	明神地区(1台)・堂浦北泊地区(1台) 地域内施設・金融機関・公園等(1台)

*パトロール車には、お巡りさんも同乗、手配していただいた「蛍光タスキ」、夜間に散歩・運動をしている歩行者への交付活動も定着し、最近ではほとんどの歩行者が着用している！

パトロール中は、車の窓から外を注視しながら約 30 分から 40 分間、コミュニケーションを図りながらゆっくりとした速度で巡回します。途中、金融機関、学校、公園、施設等の前では少なくとも 10 秒間停止しております。

瀬戸地区補導員連絡協議会との合同夜間パトロール実施要項です。補導員の夜間パトロールにも青パトの導入でより効果的に実施したい、そんな思いで提携が実現いたしました。毎月第 1 金曜日に瀬戸町駐在所に集合の上、3 台の青パト装着車でパトロールを実施しています。パトロール車にはお巡りさんも同乗していただいています。そして、お巡りさんに手配していただいた蛍光タスキを、夜間に散歩や運動をしている歩行者の皆様へ交付活動も行っています。そして、それが定着して効果が現れました。最近では、夜間のほとんどの歩行者の方が着用しています。



*地域に寄り添ってくれているお巡りさんとのコミュニケーションは、お巡りさんが身近に感じられ、とても有意義だと考えます。子どもたちの安全・安心は地域のみんなで力を合わせてこそ、守れるものだと思います。

瀬戸町防犯パトロール隊の歩み

平成23年3月18日	「瀬戸町防犯パトロール隊」結成説明会兼 「青色回転灯防犯パトロール車講習会」開催
平成23年4月01日	「瀬戸町防犯パトロール隊」発足！
平成23年6月23日	「瀬戸町防犯パトロール隊」出発式。 6台17名で初パトロール実施。
平成23年7月13日	毎月第2第4水曜日、夜間パトロール開始 (小・中学校の先生・PTA参加)
平成24年5月09日	明神小、瀬戸中学校登下校時パトロール開始

出発までの時間はまさに貴重でございます。集合場所の瀬戸町駐在所には補導員、学校の先生とPTA、防犯パトロール隊員、青少年センター、そして警察官。子どもたちの身近な関係者が集い、子どもたちの笑顔を守る活動を考えます。地域に寄り添ってくれているお巡りさんとのコミュニケーションは、お巡りさんがずっと身近に感じられ、非常に有意義なことだと考えます。子どもたちの安全安心は地域 みんなで力を合わせてこそ守られるものだと思います。

「瀬戸町防犯パトロール隊」 登校時パトロール！

☆実施日	毎週、水・木曜日	3 活動内容③
☆実施時間	7:10頃～7:50頃まで	
☆パトロール地域	明神小学校及び瀬戸中学校の通学路	
☆使用車両	水曜日1号車・木曜日2号車	



パトロール車②：ホンダ「フィット」
パトロール実施者：益岡道義・中田賢三

毎週
水曜日
に実施

毎週
木曜日
に実施



パトロール車①：ホンダ「エリシオン」
パトロール実施者：尾形丹士・根来澄子

平成24年5月9日、明神小学校、瀬戸中学校の登下校時パトロールを開始いたしました。

下校時パトロール ➔ ながら見守り活動

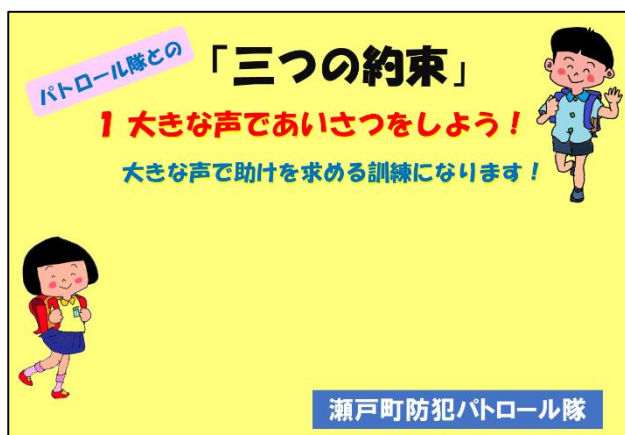
・下校時パトロール：不定期に実施

3 活動内容④

- （14：00～17：00の間10～20分程度）
- ・時間帯及び通学コースが、おおむね固定されている登校時と違い、下校時は時間帯もコースもバラバラで範囲が広いことから、活動時間が定めきれないこと、隊員の生活上難しいことから、不定期で活動！
- ・普段パトロールに参加できない隊員も含め、全ての隊員が下校時間を意識した「ながら見守り活動」を実施しています。
- ・隊員が、車等で出かけたときに、帰り道は少し遠回りをしてでも子どもたちの下校ルートを巡回します。
- ・この活動こそが、最も効果的かもしれません！

登校時パトロールは、毎週水曜日と木曜日に実施いたしております。実施時間は登校時間を考慮して7時10分頃から7時50分、最終8時頃まででございます。水曜日は1号車、私と隊員の根来が、木曜日は2号車、副隊長の益岡と隊員の中田がペアでパトロールしております。明神小学校と瀬戸中学校の通学路を中心に人通りの少ない場所、学校から遠い場所を意識してパトロールをしています。

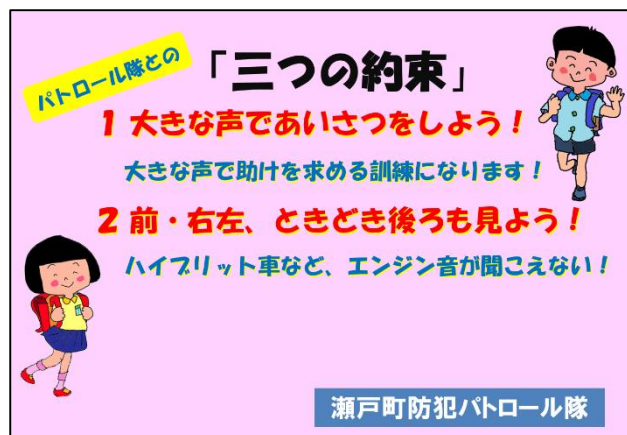
下校時パトロールは、ながら見守り活動です。14時から17時の間、10分から20分程度不定期に実施しております。下校時は時間帯もコースもバラバラで、範囲が広いことから活動時間が定めきれないということ、隊員の生活上を集合することが難しいことから不定期の活動となりました。でも、普段パトロールに参加できない隊員も含め、全ての隊員が下校時間を意識したながら見守り活動なのです。隊員が車等で出かけた時に、帰り道は少し遠回りをしてでも子どもたちの下校ルートを巡回しています。



2022年5月に機会をいただき、明神小学校の全生徒にパトロール隊からのお願いということで話をさせていただきました。その中で、子どもたちと「3つの約束」をいたしました。1つ目は「大きな声であいさつを

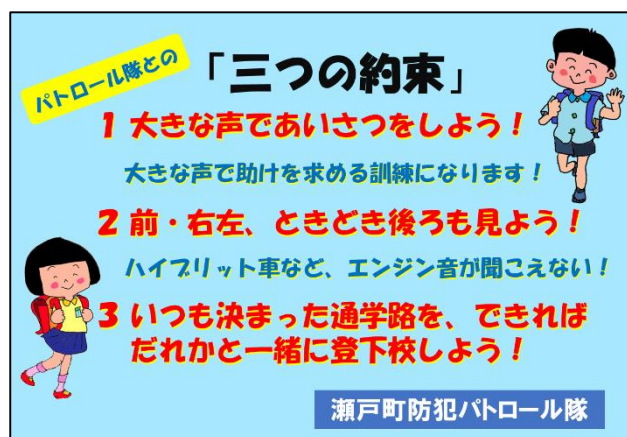
しょう」です。

とっさに大きな声はなかなか出すことはできません。大きな声で挨拶をすることで、万が一の場合に大声で助けを求める、そんな訓練になると思い実施しております。子どもたちに対して、大きな声で挨拶をするようにしています。おはよう、いってらっしゃい、頑張れよ、子どもたちからも大きな声で挨拶が返ってくるようになりました。



2 目 は「前・右左、ときどき後ろも見よう！」でございます。前方・右左右の確認は十分に浸透しています。しかし、最近ではハイブリッド車や電気自動車のように、ほとんどエンジン音が聞こえない車が多くなってきました。

気づかないうちに子どもたちのすぐ後ろに近づいてきます。通学中の子どもたちを見ていると、普段車の通りが少ないそんな道路では油断しています。パトロール中に気がつけば注意はしておりますが、急に大きく広がってしまうことがあるのでとても危険です。



3 目 は、「いつも決まった通学路を、できればだれかと一緒に登下校しよう！」です。誘拐や連れ去りは1人の時が危険です。誰かと一緒に登下校をしましょう。黄色い帽子とランドセルカバーは1年生です。可能な限りご近所で話し合いをするなどして上級生と一緒に安心です。そして、何より安全です。



瀬戸地区の人口の 60%以上を占める明神地区からは、大多数の中学生たちが通学しています。そのほとんどは自転車通学です。通学路は県道 182 号瀬戸港線です。道幅が狭く交通量の多い道路です。それにもかかわらず、大型の路線バスが通る危険がいっぱいの通学路です。

しかし、明神地区から瀬戸中学校への通学路は、この 182 号線以外には無いのです。学校まで 100m ほど手前の瀬戸公民館前で子どもたちは自転車を降り、先生や PTA の皆さんの指示に従い横断歩道を渡ります。そこから学校まで、安全のために自転車を押しながら歩いていきます。自転車の子どもたちも、車を運転するドライバーも、双方がこの道の危険を意識し十分な注意を払っているからこそ、今のところ目立った重大な事故は起きていません。

瀬戸町防犯パトロール隊の歩み

平成23年3月18日 「瀬戸町防犯パトロール隊」 結成説明会兼
「青色回転灯防犯パトロール車講習会」開催

平成23年4月01日 「瀬戸町防犯パトロール隊」発足！

平成23年6月23日 「瀬戸町防犯パトロール隊」出発式。
6台17名で初パトロール実施。

平成23年7月13日 毎月第2第4水曜日、夜間パトロール開始
(小・中学校の先生・PTA参加)

平成24年5月09日 明神小、瀬戸中学校登下校時パトロール開始

平成28年1月24日 防犯チラシを作成の上、新聞折り込み及び
各学校並びに通学路に面した住宅に配布。
(鳴門市防犯協会の支援を受ける。)

☆瀬戸地区の子供は、瀬戸地区で守ろう！

特に、下校時！

道路に出て、子供達を見てやって！

☆子供の安全は、我々の手で！

☆誘拐！ 不審者！ 交通事故！

☆連れ去り・いたずらから子供達を守りましょう！

☆子供達の通学路に位置する住民の皆様、登下校時間帯に家の前の道路に出ていただけませんか。「わずか5秒間でも！」それだけで、子供たちの安全が大幅にアップします！ご協力をお願いします。

☆子供たちのランドセルには、子供の未来が、そして瀬戸地区の将来が、ギッシリと詰まっています！

鳴門市瀬戸地区：瀬戸町防犯パトロール隊・瀬戸地区各団体・瀬戸地区各学校

平成二十八年一月、鳴門市防犯協会の支援を受け、チラシを作成配布しました！！

保護者のみなさんへ

連れ去り・いたずらは次のような場所で発生しています

登下校中に 子どもが一人で登下校中に、「お母さんが病院だ、一緒に病院に行こう。」などと声をかけられ、車で連れ去られることがあります。	遊んでいるときに 子どもが公園などで一人で遊んでいるとき、人目のないところに連れていかれ、いたずらをされることがあります。	人ごみの中で デパートやスーパーなどで保護者が買い物をしているときに、子どもが連れ去られることがあります。
--	---	---

子どもに教えていただきたい防犯ポイント

- 一人にならないこと
人通りの少ない場所での単独行動は避ける。多少遠回りでも、人通りの多い道路を通る。
- 知っている人でも保護者の承諾なく、ついて行かないこと
1. 方へ、連れて行かれそうになったら大声を出すなどの抵抗をして逃げる。
2. 必要に応じて、防犯ブザー、防犯ホイッスルなどを活用する。
3. 「子ども119番の家」に逃げ込む。
- 外に行くときは、保護者に行き先、帰る時間を告げること
子どもに防犯の習慣をつけさせましょう
子どもにもくり返し防犯ポイントを教えましょう

地域のみなさんへ

- 保護者や地域住民が結束し、学校周辺のパトロールや通学路付近に「子ども119番の家」を設置するなど、みんなでもちを守る活動をお願いします。
- 不審者（車）を見かけたら、状況によっては119番しましょう。
- 地域内の防犯活動で、子どもが犯罪に合いやすい危険箇所をチェックし、注意を呼びかけたり、要点的にパトロールするなどして、地域で協力して子どもを守りましょう。

鳴門市防犯協会・鳴門警察署・鳴門市教育委員会

平成 28 年 1 月 24 日、防犯チラシを作成いたしました。

これがそのチラシでございます。前年の鳴門市防犯協会総会の席で、子どもたちを犯罪から守る施策として本チラシの作成を提案させていただきました。当時、子どもの誘拐や連れ去りなど凶悪な犯罪が多発しておりました。鳴門市防犯協会はこの提案を受け入れてくださり、チラシの作成を支援してくださいました。印刷枚数 2000 枚、A4 判両面フルカラー印刷です。

☆瀬戸地区の子供は、瀬戸地区で守ろう！

特に、下校時！

道路に出て、子供達を見てやって！

☆子供の安全は、我々の手で！

☆誘拐！ 不審者！ 交通事故！

☆誘拐！ 不審者！ 交通事故！

特に登校時には、子どもたちに向けて多くの目が光っています。危険箇所には PTA の皆さんやボランティアの立哨があり、校門付近には先生方が、子どもたちを見守り、迎えています。ところが、下校時はどうでしょう。ほとんど誰もいないのが現実です。パトロール隊の活動も計画的には実施されていません。犯罪は子どもの下校時に多発しています。子どもたちは狙われています。誘拐、不審者、そして交通事故、子どもたちにとって特に下校時は危険がいっぱいなのです。



子どもたちの通学路に位置する住民の皆様、登下校時間帯に家の前の道路に出ていただけませんか。「わずか 5 秒間でも！」。人の姿が見える場所では犯罪は起こりにくい、地域の宝物である子どもたちを、地域全体で守ろう、このチラシは幼稚園、小中学校全生徒に持ち帰らせました。そして、新聞折りこみもしました。何よりも、隊員がペアで、明神小学校の通学路に面しているお家を一軒一軒、チラシを持って訪問いたしました。そして、チラシに込めた思いを訴えました。

5 課題

隊員の高齢化と後継者の不在！

結成から13年が経過し、メンバーの年齢も同様に13歳が積み重なっています。73歳の私より若い隊員は2名のみです。車を運転している私は、不安がいっぱいです。年齢と共に反射神経が落ちていることを自覚する機会が増えています。さらに、雨天の夜間などは道路が見にくく、パトロールを中止したこともあります。今後、何年続けられるか全く不明な状態です。気持ちだけは、まだまだ！なのですが・・・？

6 課題の解決に向けた取組方策

1 学校の行事をターゲットに！

＊小中学校の行事に、積極的に参加するとともに、学校・PTAとの連携をより深め「子どもを守る！」というパトロール隊の想いと活動を機会あるごとにアピールしたいと考えています。また夜間パトロールに参加していただいた、PTAや先生とのコミュニケーションの時間を有効に活用したいと考えています。

最後は、パトロール隊を継続させるための課題とその解決策です。

まずは課題。隊員の高齢化と後継者の不在でございます。結成から 13 年が経過し、メンバーの年齢も同様に 13 歳が積み重なっています。当時 60 歳だった私も、今 73 歳です。私たちの隊員の中に、私より若い隊員はたった 2 名だけです。車を運転している私は不安がいっぱいです。年齢と共に反射神経が落ちていることを自覚する機会が増えています。さらに、雨天の夜間などは道路が見えにくく、パトロールを中止したこともあります。今後何年続けられるか全く不明な状態です。でも、気持ちだけはまだまだ、なのです。

問題の解決に向けた取組方策としては、小中学校の行事に積極的に参加するとともに学校 PTA との連携をより深め、「子どもを守る！」というパトロール隊の想いと活動を機会あるごとにアピールしたいと考えています。また、夜間パトロールに参加していただいた PTA や先生とのコミュニケーションの時間を有効に活用したいと考えています。

6 課題の解決に向けた取組方策

**2 地域のイベント「子ども食堂」を
ターゲットに！**

＊地域のイベントとしては、昨年4月にオープンした瀬戸地区全体で取組む「せとの子ども食堂－親子塾－」をターゲットにしたいと思っています。月1回の開催ではありますが、最近では毎回200名以上の参加者があり、子どもたちとそのご両親も多く参加されています！



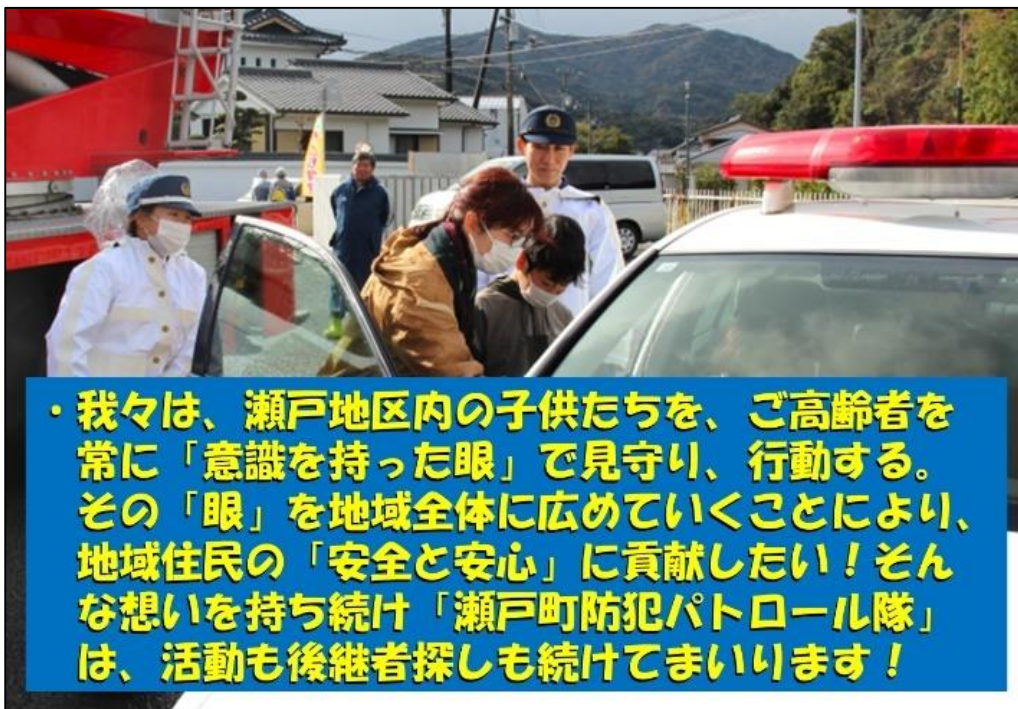
令和5年11月18日(土)開催！

パトカー・白バイ・消防車がやって来る！

毎月第3土曜日の11:00から開催しています。会場である瀬戸公民館にやって来る子どもたちを交通事故等から守るため、瀬戸町駐在所のお巡りさんが巡回してくださっています。パトロール隊の隊員も入り口付近及び周辺道路で見守り活動を実施しています。さらに駐車場への誘導や整理も行っています。このような活動が参加者へのアピールになるに違いありません！

次に地域のイベントとしては、昨年4月にオープンした瀬戸地区全体で取り組む「せとの子ども食堂－親子塾－」これをターゲットにしたいと思っています。月1回の開催ではありますが、最近では毎回200名以上の参加者があり、子どもたちとそのご両親も多く参加されています。

昨年11月18日の子ども食堂のチラシから抜粋したものです。鳴門警察署様のご尽力により、白バイとパトカーが子ども食堂にやってきました。子どもたちは大喜びでした。大人もですけど。子ども食堂は毎月第3土曜日の11時から開催しています。会場である瀬戸公民館にやってくる子どもたちを交通事故から守るため、瀬戸町駐在所のお巡りさんが巡回してくださっています。パトロール隊の隊員も入口付近及び周辺道路で見守り活動を実施しています。さらに、駐車場への誘導や整理も行っています。このような活動が参加者へのアピールになるに違いありません。



・我々は、瀬戸地区内の子供たちを、ご高齢者を常に「意識を持った眼」で見守り、行動する。その「眼」を地域全体に広めていくことにより、地域住民の「安全と安心」に貢献したい！そんな想いをもち続け「瀬戸町防犯パトロール隊」は、活動も後継者探しも続けてまいります！

子ども食堂では、普段会えない多くの子どもたちやご高齢者に出会います。まさに地域のコミュニティの場です。思いを伝えられる絶好の場でもあります。私たちは瀬戸地区内の子どもたち、ご高齢者を常に意識を持った眼で見守り、行動する。その眼を地域全体に広めていくことにより、地域住民の安全と安心に

貢献したい。そんな想いを持ち続け、瀬戸町防犯パトロール隊は、活動も、そして後継者探しも続けて参ります。

これで発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。



講評・質疑応答

【大杉先生】

発表ありがとうございました。非常に温かいハートを感じました。すぐコミュニケーションを大事にされているのだなということを感じました。PTA や学校の先生方としっかりと対話をしながら活動につなげていくというお話がありました。

このコミュニケーションをどのようにとるのか、何か心がけていることなどについて情報共有をお願いします。

【発表者】

活動というのは、すべてのコミュニケーションを我々だけがやろうとしても伝わりません。やはり、我々は子どもたちと高齢者を中心に活動していますので、子どもたちの親御さんと学校の先生方に話します。そして、小さな子どもにも防犯意識をもってもらうために、いろいろな知恵を教えるということが大事だと思っています。非常にコミュニケーションは大事です。

【大杉先生】

ありがとうございます。PTA の方では防犯ボランティアの参加が難しいという方もたくさんいますが、それでもしっかりと活動に参加する方がいらっしゃるということは、その熱意が伝わっているんだと思いました。

【発表者】

学校が理解してくれているということです。

【大杉先生】

それから、子どもたちへの「3つの約束」もすごく素敵だなと思いました。「後ろを見よう」とか「挨拶をし

よう」とか、すごく素敵だと思いましたが、これをどのように子どもたちに伝えているかを教えていただけますか？

【発表者】

コロナ禍もあり、各教室にリモートでお話をしました。また、別のいろいろな機会にも直接お話しをしています。

【大杉先生】

あと1点、子ども食堂の開始の経緯を教えてくださいませんか？

【発表者】

コロナのために4年間ほど顔を合わせることがなかったです。それでは、この地域が終わってしまうのではないかと、今日来ていただいている副会長が、自治振興会会長と2人で話し合っ、地域の活性化をしようと、子ども食堂をはじめることになりました。我々がやっている子ども食堂は、すべての人が参加できる子ども食堂です。最初は、20-30名でいいと思っていたところ、初回から100人が集まり、最高で230名が集まります。人口4000人、子ども260名の地域で、その日に230名が集まることを想像してみてください。

【大杉先生】

ありがとうございました。